

令和6年度 授業改善推進プラン (小学校学級担任用)

福生市立福生第一小学校 第2学年2組

1 福生市学力・学習状況調査の結果				
	分類	意識調査の質問項目	組	全国
学びに向かう力	感情のコントロール	5 家の人は自分のことを気にかけてくれていると思う	95.7%	91.7%
		25 自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある	91.3%	87.0%
		26 自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う	90.9%	92.6%
	目標の達成	10 ふだんから「不思議だな」、「なぜだろう」と感じることもある	78.3%	65.1%
		15 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある	95.5%	88.8%
	他者との協働	56 わたしは、友だちの心をきずつけることを言ったり、からかったりしていない。	73.9%	73.4%
	学力と関係が深い質問	3 本や新聞を読んでいる。	43.5%	65.1%
		20 学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	86.4%	90.4%
		52 私は、学校や授業で発言している人の話を最後までしっかり聞いている。	91.3%	91.7%
領域名		学力調査の分析 ○成果 ▲課題		
国語	言葉・情報・言語文化	▲全国平均正答率を8.0ポイント下回り、(漢字の読み(まっすぐに立つ。))設問に課題がある。		
	話すこと・聞くこと	▲全国平均正答率を2.5ポイント下回り、(放送された内容のテーマを選ぶ)設問に課題がある。		
	書くこと	▲全国平均正答率を12.9ポイント下回り、(文章中の説明に沿って空欄に合う内容を書く)設問に課題がある。		
	読むこと	▲全国平均正答率を9.9ポイント下回り、(場面の様子を読み取って抜き出す)設問に課題がある。		
算数	数と計算	▲全国平均正答率を4.6ポイント下回り、(場面を式に表し、答えを求める(2位数+1位数)設問に課題がある。		
	図形	▲全国平均正答率を4.4ポイント下回り、(図が何枚の色板でできているか正しいものを選ぶ)設問に課題がある。		
	測定	▲全国平均正答率を3.5ポイント下回り、(指定された時刻を指している時計を選ぶ(5時55分))設問に課題がある。		
	データの活用	▲全国平均正答率を0.8ポイント下回り、(絵グラフからいちばん数の少ないものを選ぶ)設問に課題がある。		
2 児童の実態		3 児童の実態を踏まえた授業改善の取組		
<p>・国語では、大きな声で丁寧に音読する姿が見られるなど意欲をもって取り組んでいる児童が多い。しかし、漢字が読み間違いや語のまとまりが正しく掴めないなどの課題が見られる。また、「読むこと」の領域では、文章を正しく読み内容を読み取ることや読み取った内容を書くことに苦手を感じている児童が多い。同じ文章を繰り返し学習すれば理解できるが、初見の文章を読んで理解することが苦手である。</p> <p>・算数では、様々な問題にチャレンジして、たくさん問題を解こうとする姿勢がみられた。しかし、「数と計算」の領域の平均正答率は全国を下回った。計算方法を正しく理解すること、正確に計算することなど課題は児童によって異なる。</p>		<p>・国語では、音読をする機会を確保する。教師が手本を示し、語のまとまりや言葉の響きを意識させ、正しく音読できるようにする。また、初見の文章に慣れさせるため、本の読み聞かせを行い、本の内容から教師が質問をして、内容を説明する活動を取り入れる。本に出てきた語句の意味を解説することで、語彙力を伸ばす。</p> <p>・算数では、たくさん問題を解いている意欲を認める。その上で、間違えないようにするためにどうすればよいかを考えさせ、普段から見直しの習慣を身に付けさせる。また、児童が解いた計算プリントやミライシードの問題の分析を行い、児童一人一人の課題を把握し、個に合った指導を展開する。</p>		
4 ミライシードとの連携機能を活用した取組				
個別ドリルの実施状況		令和6年8月末時点で完了している児童	91.3%	(21人/23人中)
確認テストの実施状況		令和6年8月末時点で完了している児童	91.3%	(21人/23人中)